

2020年1月吉日  
株式会社住化分析センター

「オートパッチクランプシステムを用いた心筋イオンチャネル評価」  
サービス開始のお知らせ

このたび、株式会社住化分析センターは、「オートパッチクランプシステムを用いた心筋イオンチャネル評価」のサービスを2020年4月より、開始いたします。迅速、高品質、適正価格のサービスを国内で実施いたします。

FDAが主導する Comprehensive *in vitro* Proarrhythmia Assay (CiPA) は、創薬候補物質の催不整脈リスク予測に関して、hERGを含めた各種イオンチャネルアッセイを実施し、得られたデータを *in silico* で評価することによって、総合的な不整脈作用を予測する新しいリスク評価法を提案しています。これに対応すべく、心臓のイオンチャネルへの影響を創薬段階の早期にハイスループットで取得することは、創薬ストラテジーにおいて大きな意義があります。

当社では、ハイスループット性において最上位機種である Sophion Bioscience 社製 Qube 384 を導入しました。当面は hERG 評価についてサービスをご提供しますが、Nav1.5 評価及び Cav1.2 評価についてもご提供を予定しています。

社内実施からの切り替え、新たな外部委託先として、是非ご検討ください。

➤ Qube 384とは

ハイスループット用に開発された最新の全自動パッチクランプシステムで、マニュアルパッチクランプと非常に近いホールセルクランプ状態で、イオンチャネル電流を測定することができます。Qube専用の測定プレート (QChip 384) を使用することでギガシール形成による膜電位固定を行うことができ、1測定あたり384ウェルの高品質なデータを一度に取得することが可能です。また、実験の目的に合わせてシングルあるいはマルチホールを選択することも可能です。

サービスの詳細：

<https://www.scas.co.jp/services/lifescience/pharmaceuticals/toxicity/autopatch.html>

お問い合わせ先：

株式会社住化分析センター クライアントサービス本部

医薬事業部（東京） TEL 03-5689-1217

医薬事業部（大阪） TEL 06-6202-1801

E-mail : Hiyakumarketing1@scas.co.jp